

令和3年度 自己評価書

学校名	和歌山市立今福小学校
校長氏名	土本 悦子
作成日	令和 4年 3月 8日

1 教育目標

健康で、豊かな情操と創造的実践力のある子供の育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査、県学力到達度調査で正答率が県平均を上回る ○わかる授業、子供主体の授業を実践したと思う(児童・教師90%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ○縦割りなかよし活動の充実 ○「私たちの道徳」「希望へのかけはし」の活用100% ○いじめ解消率100% ○学校が楽しいと感じる(児童90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に運動を行うように計画し、実践した(教師90%以上) ○朝ごはんを食べた(児童100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の様子がよく伝わった(保護者90%以上)
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎子供主体の授業の推進 ◎家庭学習の定着 ◎読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ◎高学年をリーダーとした仲間づくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力向上の推進 ◎基礎的生活習慣の確立 ◎危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携充実 ◎保幼小中の接続、中学校区における学校間連携の推進 ◎地域の人材・資源活用の推進
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○書くことを大切に、自分の考えを持ち発言できる授業づくりを行った ○小テストなどスモールステップの積み重ねで学習内容の定着に努めた ○保護者と協力しながら家庭学習の定着に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> ○「私たちの道徳」を活用して道徳の授業を行った ○いじめアンケートを年間3回以上実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた ○縦割りなかよし活動の充実を図り、異学年の子供同士が関わる機会を増やすように努めた 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍であったが感染を避けるため、接触の少ない種目を積極的にを行い、基礎体力の向上に努めた ○「早寝、早起き、朝ごはん」を意識するよう呼びかけを続け生活点検を行った ○危機回避能力が身に付くよう学期に1回以上の避難訓練を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だより、学級だより、保健だより等を通して学校の情報を定期的に発信した ○機会を捉えて、小学校と中学校で連絡を取り合い、児童生徒に関する情報を共有した △コロナ禍の影響で地域の方々との交流はできなかった
取組の成果と課題【C】(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○国語、算数共に、全国平均、県平均を大きく上回った ○基礎学力タイムを保障し基礎学力の向上を図ることができた ○自主学習など家庭学習の習慣が身に付きつつある 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートや普段の子供の様子を観察により、「今福の子供」の情報共有から、いじめのない学校づくりに取り組むことができた ○縦割り活動により、上級生が下級生に優しく、児童は学年を越えて仲がよい 	<ul style="list-style-type: none"> △コロナウイルス感染症の影響かアウトメディアの取り組みを行っているが、テレビの視聴ゲームの時間スマホ・携帯の使用時間は減らない ○地震・火事・大津波発生時の避難訓練を学期に1回以上実施し、子供達に万が一の時の対応を考えさせることができた 	<ul style="list-style-type: none"> △学校評価アンケートの「学校は、学校の教育活動や子供の様子を、保護者にわかりやすく伝えている」が84%で目標に届かなかった △新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため交流活動が十分にできなかった
改善方法【A】(次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・対話を積極的に取り入れ子供達の考える力を伸ばす授業づくりに取り組む ・基礎学力充実の取り組み、家庭学習の取り組みを継続して行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の実情や実態に応じた、子供の心を耕す道徳の授業に取り組む ・学校や仲間のために、自分が出来ることを考え、実行しようとする子供の育成を目指して取り組みを進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育研究の中に意識して、子供の体力向上につながる活動を取り入れていく ・子供だけでなく保護者にも基本的な生活習慣の重要性を啓発していく ・引き続き、避難訓練等を定期的に行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、学級だより、保健だよりの他、機会を見つけて学校の様子を伝えていく。可能であればホームページ等も利用する ・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、中学校、幼稚園、地域との交流を推進していく

3 その他の課題

・本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため学校行事の大幅な見直しや中止を余儀なくされた。今後も感染状況によって、工夫しながら学校運営に取り組む。

・今後も非常時の職員の動きを確認し、学校の安全に対する設備面の充実を図り、安心・安全な学校づくりに取り組む。